

# 止まり木

9月29日発行  
第20号

大阪市立横堤中学校

## ひとつになった！



本日、第42回体育大会をさわやかな秋晴れの中、実施することができました。たくさんの保護者の方に参加していただいたこと、数年ぶりに地域のご来賓の皆さんに来ていただいたことを本当にうれしく思います。多くの方に見守られる中で子どもたちは、自身のやるべきことに全力で取り組んでいました。生徒会長の開会の言葉や力強い選手宣誓もみんなが本気で頑張ろうという心に火をつけてくれました。

開会式の時に次のような話をしました。「1年生は初めての体育大会、遠慮せずに自分の持てる力を発揮し、先輩たちの動きをしっかり見てほしい。2年生は、いよいよ一つ一つの行事が終わるたびに横堤中学校の中心になっていきます。しっかりとバトンを受け継ぎ、さらに成長するきっかけにして欲しいと思います。3年生は不安や悔しさを経験しましたが、ここまで本当によく耐えて頑張ってきました。そして、中学校生活最後の体育大会となりました。今までも、そしてこれからも何かをするたびに”最後の”という言葉が付いて回ることだと思います。しかし、校長先生は最後の体育大会だから頑張れというつもりはありません。それはなぜか、みんなには〇〇だから頑張るという風に理由がないと頑張れない人にはなってほしくないのです。今やらなくてはならないことが目の前にある。だから全力で頑張る。損得抜きに一生懸命、まっすぐに頑張ることができる。そういう人になって欲しいと願っています。どうか今日の体育大会もそういう気持ちでこころを一つにして『One by heart』のスローガンのもと、頑張っていきましょう。」と。そして、皆の思いが一つになって始まった体育大会は、一人一人が競技・演技・応援、そして係の仕事と一つ一つに全力で取り組んでいました。全般を通じて感動したのは誰もが手を抜いていないこと、そしてその頑張っている人にクラスや学年を超えて暖かい声援を送っていることでした。

一つ一つの競技は、もちろん、学年種目も見ごたえがありました。1年生の「必さつ、渡り人」、馬になった背中をどんどん送っていきながら、その背中を渡っていくという簡単そうで難しい中で力を合わせて頑張っていました。2年生は「pull pull 大合戦～引き寄せろ！勝ち星奪取～」という棒引きと綱引きを同時に使うという種目でした。得点の違う綱と棒、クラスの作戦と皆の力を一つにして争う競技でした。3年生は「全員リレー」。さすが3年生、その走りっぷりは力強く、みている側もつい力が入ってしまいました。そして何より3年生の「横中ソーラン」。閉会式の時に次のようなお話をしました。「ソーランの振り付けは中学生であればちょっと頑張れば必ずできるようになります。隊形も練習すれば覚えることができます。でも踊ることができて形が整ったとしても人は感動しません。では、今日の3年生のソーランに感動したのはなぜか？それは君たちの顔つき、目つきといった表情を見て感動したのです。やり切ってやろう。気持ちを伝えようという本気の思いが顔に、体に現れたときに見ている人たちは感動をするのです。まさにそんなソーランを3年生は演じてくれました。そして、新たな伝統の第一歩を築いてくれました。一人一人の力はまだまだ小さいかもしれません、一人一人が心を合わせ、本気になって取り組めば人の心を変えることができる。感動させることができる示してくれました。かっこいい先輩の姿を見た後輩たちが、来年、どんな体育大会を創ってくれるか、今から楽しみです。

最後になりましたが、保護者の皆さん、地域の皆さん、暑い中心からの応援、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。